

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3168452号  
(U3168452)

(45) 発行日 平成23年6月16日 (2011.6.16)

(24) 登録日 平成23年5月25日 (2011.5.25)

(51) Int.Cl.

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

F 1

A 6 1 B 8/00

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2010-7874 (U2010-7874)  
(22) 出願日 平成22年11月12日 (2010.11.12)(73) 実用新案権者 510317977  
文永堂製薬株式会社  
茨城県小美玉市上合 1 1 6 6 番地  
(72) 考案者 永井 正富  
茨城県小美玉市上合 1 1 6 6

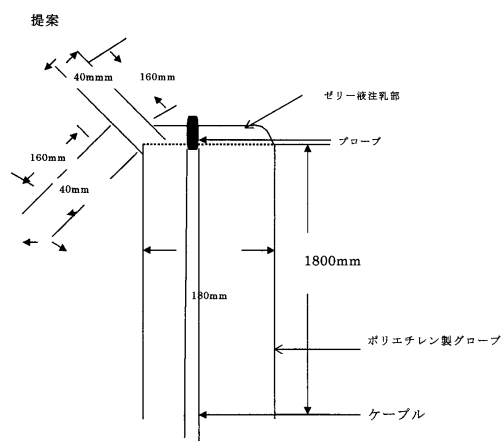
(54) 【考案の名称】超音波診断装置プローブカバー (牛・馬・豚・犬・猫用)

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】直腸内の糞等による汚染の問題を解消した作業性のある超音波診断装置プローブカバーを提供する。

【解決手段】ポリエチレン又はポリプロピレンを原料とする衛生資材カバーにゼリーを入れた後、超音波診断装置プローブを挿入し、液が漏れないように縛る。

【選択図】図 - 2



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

ポリエチレン又はポリプロピレンを原料とする衛生資材カバーにゼリーを注入後、超音波診断装置のプローブを入れ、紐でゼリーが漏れないようにし、プローブの有効活用することを特徴とする。

**【考案の詳細な説明】****【考案の詳細の説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、医療、検査室、研究所は勿論、衛生検査、動物繁殖等に使用する超音波診断装置部のプローブにカバーを付け有効活用に関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

従来の直腸内検査は衛生検査手袋を使用し、直腸内を触感検査するが、又は畜体の表面にゼリーを塗布後、超音波診断装置部のプローブを挿入し直腸内を検査する。

この場合はプローブが糞等により汚染されるため、装置清掃の問題及び連続使用すると、畜体に対する安全性の不安が残る。

**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

本考案は、衛生資材カバーにゼリーを注入後、超音波診断装置部のプローブを入れカバーの一部を紐で液が漏れないし、プローブを確実に稼動させ、プローブの清掃及び糞等による汚染の問題解決し、更に安全に連続使用を可能にしたものである。

**【課題を解決するための手段】****【0004】**

衛生資材カバーにゼリーを注入したカバーにプローブを入れ、紐で漏れないようにすることを特徴とする。

**【考案を実施するための形態】****【0005】**

考案の実施の形態について図面を参照して説明する。

次に、本考案を説明する。

ポリエチレン樹脂又はプラスチック樹脂に、生分解性プラスチック、例えばテクラ・ノボン20%を加えて混合溶解し、自然分解プラスチックに変化させ、これを通常のインフュージョン成形により衛生検査カバーを製造する。

通常は衛生資材手袋を使用し、触感で直腸内を検査するか、又は畜体表面にゼリーを塗布後、超音波診断装置部のプローブで、直腸内内部を検査する。この場合は直腸内内容物によりプローブ本体が汚れ、清掃に時間を必要とする。また連続使用する場合には、畜体に対する安全性の不安が残る。(図1)

ないように縛り測定を実施する。衛生資材カバーにゼリーを入れることで、カバーと畜体表面の密着が確実になり、プローブが正確に稼動する。カバーの使用によりプローブの本体の汚れ、清掃及び感染症に対する安全性の問題を解決する。(図-2)

**【考案の効果】****【0006】**

本考案は、衛生資材カバーにゼリーを注入後、プローブを入れた液が漏れないように紐で縛り、プローブを正確に稼動させ、プローブ本体の汚れ防止し、更に連続使用をしても畜体の感染症に対する安全性を担保する。

**【図面の簡単な説明】**

【図-1】提案前 平面図

【図-2】提案 平面図

**【符号の説明】**

10

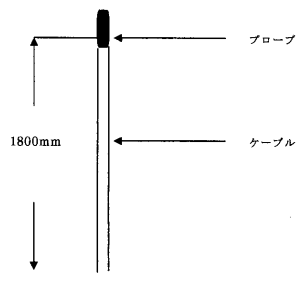
20

30

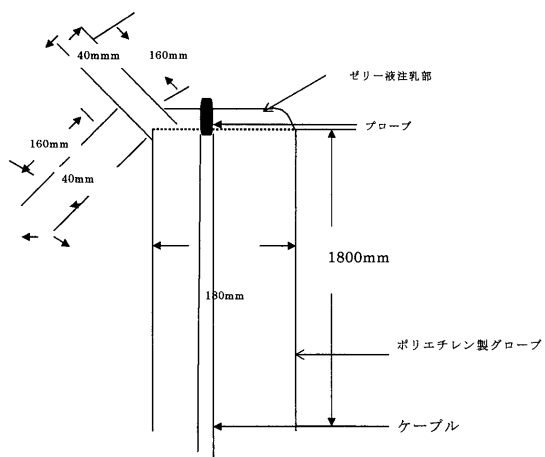
40

50

提案前



### 提案



【手続補正書】

【提出日】平成23年3月4日(2011.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエチレン又はポリプロピレンを原料とする衛生資材カバーにゼリーを注入後、超音波診断装置のプローブを入れ、紐でゼリーが漏れないように縛り、プローブの有効活用するための「超音波診断装置プローブカバー」です。

专利名称(译)	超声波诊断设备探头盖 (适用于牛, 马, 猪, 狗, 猫)		
公开(公告)号	<a href="#">JP3168452U</a>	公开(公告)日	2011-06-16
申请号	JP2010007874U	申请日	2010-11-12
申请(专利权)人(译)	BunEiDo药业有限公司		
当前申请(专利权)人(译)	BunEiDo药业有限公司		
[标]发明人	永井正富		
发明人	永井 正富		
IPC分类号	A61B8/00		
FI分类号	A61B8/00		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

# 摘要(译)

(修改) 要解决的问题: 提供一种用于解决直肠中粪便等污染问题的超声波诊断设备的可用探头盖。 解决方案: 将果冻放入由聚乙烯或聚丙烯制成的卫生材料盖作为原材料, 然后插入超声波诊断设备探头, 并将液体捆扎以防止泄漏。 【选择图】图2

